

# 広瀬川1万人プロジェクト 2011



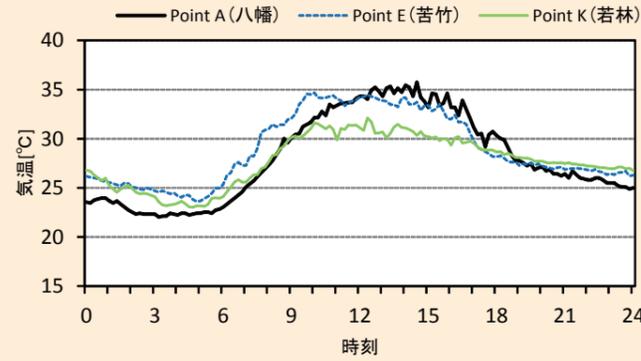
社の都・仙台のシンボルである広瀬川の自然環境を守り、多くの市民が親しめる広瀬川にするため、100万都市仙台的1%にあたる1万人をキーワードとして、市民・企業・行政が連携して様々な取り組みを行っています。



## 広瀬川温熱環境測定

昨年度に引き続き、東北大学が行った「屋外温熱環境実測に基づいた広瀬川の保有する気候緩和効果に関する研究」に協力し、以下のような結果が得られました。

- 日中に海風が吹く日は、海岸線からの距離に応じて気温上昇が緩やかになる時刻に差異が生じていることから、海風の到達が気温上昇の抑制に大きく影響している。
- 海岸線から河原町周辺にかけて広瀬川近くの測定点で大きく気温が低下している。これは広瀬川自身が冷源となり周囲の気温を低下させていることや、河川空間が海風の道となっている可能性がある。
- 西風が吹く日は、内陸部の測定点も含めて広瀬川、緑地周辺での気温低下が確認できた。これにより海風が吹かない日でも広瀬川は大きな気温低減ポテンシャルを有している。



## 広瀬川で遊ぼう

5月3日～5日に広瀬川宮沢緑地で行われた「広瀬川で遊ぼう」に避難所の子ども達を招待しました。Eポートに乗ったり、屋台で食べ物を食べたりと、広瀬川でゆったりを過ごしていただきました。



## 実行委員会への加入について

広瀬川1万人プロジェクトは、広瀬川の自然環境を守り、多くの市民が親しめる広瀬川とするという目的に賛同して集まった企業・団体などが実行委員会をつくって活動を行っています。

実行委員会加入の要件は、この目的に賛同し、以下の「実行委員の役割」を担っていただける企業・団体となっております。加入申込書は、公式サイト<http://10000p.blog76.fc2.com/>からダウンロードいただけます。以上の趣旨をご了承いただき、私たちと一緒に活動していただける企業・団体を募集しています。

また、清掃活動への参加や実行委員会事務局への協力については、個人での参加も大歓迎です。詳しくは下記事務局までお問い合わせください。

## 実行委員の役割

### 1.協賛金の提供

広瀬川1万人プロジェクトへ協賛金(1口10,000円/年度毎)のご提供

### 2.事務局業務への協力

流域一斉河川清掃実施に向けた事務局業務への協力や、新規事業の企画運営業務などに関する協力以上の役割は、ひとつでも両方でも結構です。詳しくは下記事務局までお問い合わせください。

## 企業の社会的責任等(CSR活動)に関する参加証明書の発行について

広瀬川1万人プロジェクト実行委員会の主な活動である流域一斉河川清掃は、国土交通省、宮城県、仙台市など公共事業入札総合評価制度におけるボランティア活動への参加実績として、評価対象となっています。

実行委員会に加入していただいた団体・企業には、清掃活動に参加いただいた場合、参加証明書を発行できます。(ただし、実行委員会に加入しないで清掃活動のみに参加された企業・団体には、参加証明書を発行できません)。なお、清掃に参加した個人に対する参加証明書は、「広瀬川1万人プロジェクト実行委員会」名で発行することも可能ですので、詳しくは下記事務局までお問い合わせ願います。

## お問い合わせ

広瀬川1万人プロジェクト実行委員会 事務局(広瀬川市民会議)

TEL080-7004-4932 FAX022-739-8814

E-mail [hirosegawa\\_shiminkaigi@yahoo.co.jp](mailto:hirosegawa_shiminkaigi@yahoo.co.jp)

〒989-3434 仙台市青葉区新川字佐手山 5-124



第12回広瀬川流域一斉清掃

フォーラム 震災の記憶  
～巨大津波とどう向き合うか～

広瀬川で遊ぼう

広瀬川温熱環境測定



## 【主催】広瀬川1万人プロジェクト実行委員会



(株)HIインフラシステム / NTTコムウェア東日本(株) / NTT労働組合宮城県グループ連絡協議会 / アイサワ工業(株) / 旭インボックス(株) / 伊東工業(株) / (株)エコリス / 遠藤興業(株) / 奥田建設(株) / 鹿島建設(株) / 河北建設(株) / (株)鎌田建設 / 川田建設(株) / 川田工業(株) / グリーンパワー作並 / 栗田工業(株) / (株)栗本鐵工所 / 建設塗装工業(株) / (株)建設技術研究所 / (株)コウリョウ / 古久根建設(株) / 佐藤工業(株) / (株)サトー技建 / 三建設備工業(株) / サンコーコンサルタント(株) / 三洋テクニクス(株) / 三洋テクノマリン(株) / (株)三洋設計 / (株)芝玄 / 庄磁工業(株) / 情報労連宮城県協議会 / 水ing(株) / 水道機工(株) / (株)水機テクノス / 西武建設(株) / 星和電機(株) / (株)銭高組 / 仙建工業(株) / 全国上下水道コンサルタント協会 / 仙台環境開発(株) / 仙台市カヌー協会 / 仙台南地区広瀬川環境美化推進協議会 / 大日本コンサルタント(株) / 大日本土木(株) / 大和小田急建設(株) / 大同機工(株) / (株)鷹泉閣岩松旅館 / 中央コンサルタンツ(株) / 東京コンサルタンツ(株) / (株)東京鐵骨橋梁 / 東北工業大学環境情報工学科 / 東北三建サービス工事(株) / 東北緑化環境保全(株) / (株)東洋技研 / 徳倉建設(株) / 飛鳥建設(株) / 中野建設コンサルタント(株) / 名取川水系水質汚濁対策連絡協議会 / 名取ハマボウフウの会 / ニッカウキスキー(株) / 日本工営(株) / 日本上下水道設計(株) / 日本総合コンサルタント(株) / 日本ロード・メンテナンス(株) / ハザマ(間組) / パシフィックコンサルタンツ(株) / (株)パスコ / 広瀬川市民会議 / NPO法人広瀬川ボートくらぶ / (株)深松組 / フジタ道路(株) / (株)復建技術コンサルタント / プリヂストン・タイヤ・セールス北日本(株) / 北部広瀬川愛護推進協議会 / (株)丸島アークシステム / 丸磯建設(株) / NPO法人水・環境ネット東北 / (株)みずほ電設工業 / (株)宮城衛生環境公社 / 宮城県建設業青年会 / (社)宮城県測量設計業協会 / 三幸建設工業(株) / 美和電気工業(株) / 八千代エンジニアリング(株) / 山川建設(株) / (株)ヤマザキ / (株)有電社 / 横河電機(株) / (有)吉田管工事 / (株)ヨネヤマ設備 / (株)渡辺技工

協力 | 国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所 環境省東北地方環境事務所 宮城県 仙台市 名取市  
後援 | 仙台市河川愛護会 仙台商工会議所 (財)仙台観光コンベンション協会

公式サイト <http://10000p.blog76.fc2.com/>

# 第12回広瀬川流域一斉清掃

平成23年9月24日



「広瀬川の清流を守る条例」が1974年9月28日に公布されたことにちなみ9月に一斉清掃を行っています。

近年は4月のアースデイにも行い、年2回広瀬川の流域一斉清掃を実施しています。

### 参加者の声

- ・大型の不法投棄が少なくなってきたように感じます。
- ・牛越橋付近の河原でいつも子どもと遊んでいるので参加しました。
- ・台風後、連休の中日という日程にも関わらず大勢の方が参加してくれてよかったです。
- ・津波によるがれきは片付いていましたが、直前の台風による漂着ゴミが多かったです。

### これまでの主な経過

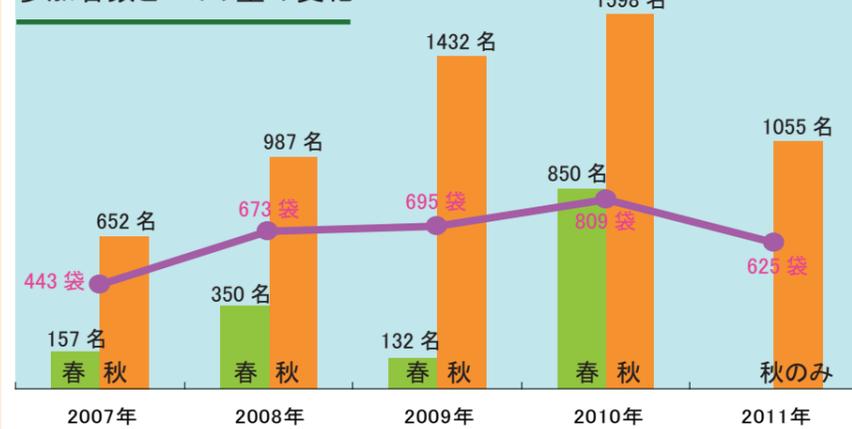
- 2002年 ・NPO法人水・環境ネット東北の発案により、仙台市の環境社会実験として「広瀬川1万人委員会」発足。
- ・広瀬川流域の6会場で一斉清掃を実施。
- 2006年 ・「広瀬川1万人プロジェクト」に名称を変更し、実行委員会体制とする。
- 2007年 ・はじめて一斉清掃を春と秋の年2回行う。
- ・四季の広瀬川を楽曲にした弦楽五重奏曲「広瀬川」の制作発表に協力。

- 2008年 ・作並会場を担当する企業と市民団体が主体となり、川に親しむイベント「作並かっぱ祭り」を開催。
- 2010年 ・源流散策会やサケの観察会、広瀬川温熱環境測定への協力。
- 2011年 ・東日本大震災の発生により、秋の一斉清掃のみ実施。
- ・フォーラム「震災の記憶～巨大津波とどう向き合うか～」を開催。

### 2011年会場毎の参加者数とゴミの量

会場	参加者数	参加者の内訳				ゴミの量(袋)
		一般	企業	町内会	市民団体等 行政機関	
作並	85		85			65
野川	61		51	10		18
折立	24		7	5	12	30
牛越橋	67	14	51			30
大橋	141	1	113	10	13	30
大橋(左岸)	124	1	123			15
大橋(右岸)	102	1	95		6	120
米ヶ袋	71		68	3		29
宮沢橋	35		19	6	10	20
富田	24	2	22			27
太白大橋	113	2	19		92	61
名取川鉄道橋	149	3	141			60
閑上大橋	59	1	46		6	120
合計	1055	25	840	34	139	625

### 参加者数とゴミの量の変化



\*ゴミの量は家庭用ゴミ袋大換算です

## 震災の記憶～巨大津波とどう向き合うか～

平成24年2月3日(金)

### 「地域文化と津波」

～津波災害の文化的位置づけと教育の在り方について～

リアス・アーク美術館学芸員 山内宏泰氏

津波災害から人命を救えるか否かは、恒久的な「津波文化教育」にかかっています。

以前、リアス・アーク美術館において三陸地震津波に関する特別展示を行いました。27,122名(明治29年当時気象庁発表数)という死者を単なる数字として表したくなかったため、紙人形を作成し並べました。背面には黒い紙を使って津波を表現し、その高さは津波の最高遡上高を表しました。4千人の入場を見込んでいましたが、来場者は1,200人とどまり、学校の利用はわずかに1校だけという状況でした。津波に対する住民意識があまりにも低すぎると感じ「砂の城」を出版しました。

津波襲来は必然であり、単なる自然現象ではなく社会現象とも言えます。地域文化を論じる上で、津波は重要な文化的要素と捉えなければならず、雪国で雪を無視した生活は成り立たないように、三陸では津波は防ぐものではなく、受け入れて共生するものなのです。

### 仙台市災害復旧の現状と課題

(株)深松組代表取締役社長 深松努氏

建設業協会では、11日の18時から道路の復旧作業を行い、自衛隊が入れるようにしました。最前線での作業だったため、ご遺体も多く、皆泣きながらの作業を連日行いました。仙台市では復旧はおおむねスムーズにはかどりました。次は復興に向けて一つずつ課題をクリアしていきたいと思えます。津波がくるまでに1時間ありました。津波があっても誰一人亡くならないようにすることは可能です。そんな仙台にできるようがんばります。

### 東日本大震災におけるがれき処理の現状と課題

仙台環境開発(株)代表取締役社長 渡邊晋二氏

現在進行形にある東日本大震災の復興に向けた取り組みについて随時課題を整理し後世の糧にする必要があります。特に今回、私たちはがれき処理に立ち向かっていますが、一度に大量の廃棄物が発生した場合の受け皿の確保が極めて重要であると感じています。特に最終処分先の確保は痛切です。

今後、東南海地震等が予測されていますが、このような準備は国家や企業の危機管理の重要な要素であると考えます。

### よみがえる閑上のいきものたち

名取ハマボウフウの会会長 大橋信彦氏

津波によって閑上の自宅は流出し、海岸のハマボウフウ保護区も壊滅したかと思われました。しかし4月上旬、保護区の中にハマボウフウの新芽を発見することができたのです。その様子はテレビで放映され、「復興のシンボル」として多くの人に希望を与えたようでした。

6月には、名取で「ふるさと海辺フォーラム」を開催しました。甚大な被害を受けた中でのフォーラムでしたが、多くの仲間に関われて、「これまで私たちが育ててきたのはハマボウフウだけではなく、集まってくださったネットワークの皆さんとの絆であった」ことを実感しました。

